

「シラバス」

〈アジア共同体論特別講座〉

— 本講座は本大学が2016年度前期に「アジア共同体論特別講座」として編成した一般教養講座です。

— 本講座は15週、週3時間の授業に編成して、運用します。

— 講師は事情によって変動可能性はあります。

— 講義の内容 —

1 週：オリエンテーション(3月4日)

— アジア共同体論の可能性及び重要性について(講座の意義説明)

担当：俞成善(江原大学)

2 週：歴史から考える東アジア共同体の可能性(3月11日)

担当：鄭俊坤(ワンアジア財団研究員)

3 週：アジア地域主義の展開と葛藤—モンゴルと中国、ロシア(3月18日)

担当：CHIMEDOSOR BATCHIMEG(モンゴル 平和大学)

4 週：大衆文化と東アジア—国境を越える文化を考える(3月25日)

担当：田世民(台湾淡江大学)

5 週：中央アジアの政治と歴史、そしてその周辺(4月1日)

担当：李エレア(早稲田大学)

6 週：東アジア共同体における宗教文化の特質と展望(4月8日)

担当：孟賢珠(韓陽大学)

7 週：アジアの文学に現れる相互認識(4月15日)

担当：沈保京(幹林大学)

8週：台湾における少数民族政策と文化、政治(4月22日)

担当：張崑将(台湾師範大学)

9週：東アジアの政治と経済協力から共同体構想へ(4月29日)

担当：辛炫承(尚志大学)

10週：東アジアの移住民政策と市民社会の役割(5月6日)

担当：李基原(江原大学)

11週：アジアのゼノポビハ(外国人嫌悪現象)現象は克服できるか(5月13日)

担当：金善姬(江原大学)

12週：日本から考えるアジア的トラウマの治癒と方法(5月20日)

担当：中岡成文(前大阪大学)

13週：アジア的寛容の問題ーインドを通じて考えるアジア的配慮と疎通の問題(5月27日)

担当：Sanjay Kumar(インドネール大学)

14週：アジア的価値と未来知のデザイン(6月3日)

担当：李光来(江原大学)

15週：アジア共同体の未来を語る(6月10日)

担当：佐藤洋治(ワンアジア財団理事長)